

フォーム

フォームとは？

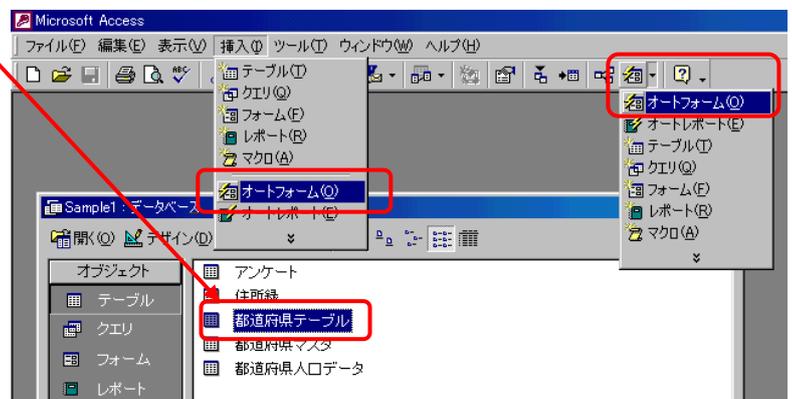
「フォーム」とは、新しいデータを入力したり、既存のデータを編集したりするための、入出力画面のことです。Accessでは、ウィザードを使ったり、あるいはマウス中心の操作によって、簡単にオリジナルの画面を作成することができます。

フォームの作り方

●オートフォームを使う

☞ フォームとして表示するテーブルまたはクエリを、データベースウィンドウで選択します。

☞ メニューの[挿入]-[オートフォーム]、またはツールバーより[オートフォーム]を選択します。



ただちに、フォームが作成されます。

The screenshot shows the '都道府県テーブル' (Prefecture Table) form. The form displays a list of prefectures with their respective data. The data is as follows:

コード	都道府県名	人口	人口密度	人口増加率	市町村数	総面積	湖沼面積	林野面積
	北海道	5700	73	-0.3	222	83452	727	55972

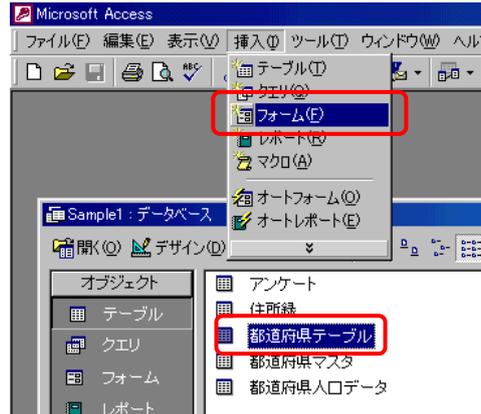
レコード: 1 / 47

●フォームウィザードを使う

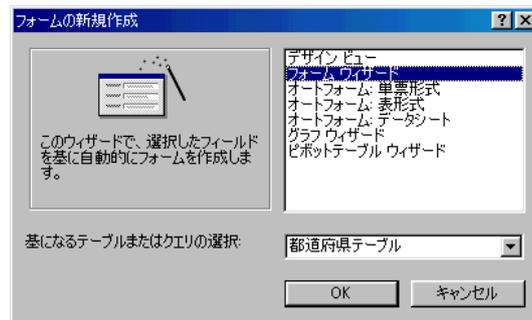
- ☞ フォームとして表示するテーブルまたはクエリーを、データベースウィンドウで選択します。

※データベースウィンドウのフォーム画面より[新規作成]を実行してもよい。

- ☞ メニューの[挿入]-[フォーム]、またはツールバーより[フォーム]を選択します。

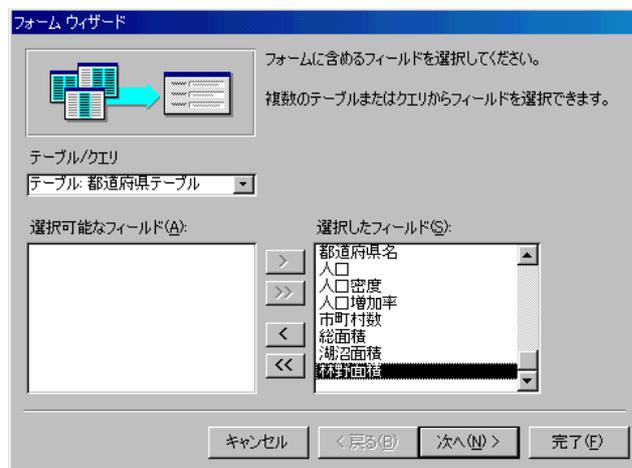


- ☞ 続いての画面で、「フォームウィザード」を選択します。



- ☞ フォームウィザードの指示に従って、画面の設定を行っていきます。

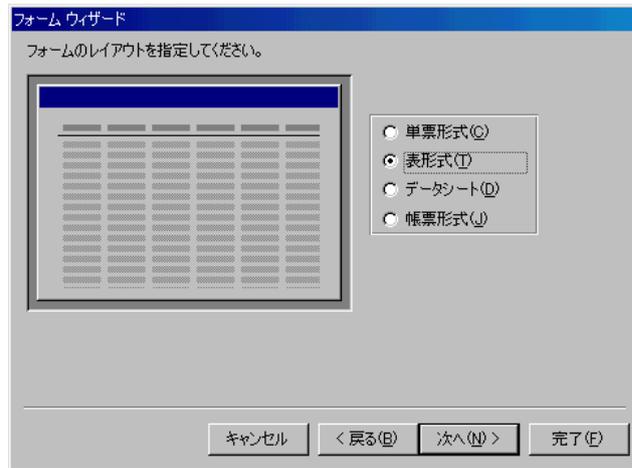
①



②

フォーム ウィザード

フォームのレイアウトを指定してください。



単票形式(S)
 表形式(T)
 データシート(D)
 帳票形式(L)

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

③

フォーム ウィザード

スタイルを選択してください。



ラベル データ

アクセスで販売管理
 ブレンド
 世界地図
 和紙
 墨絵
 工業
 探検
 標準
 砂岩
 音写真

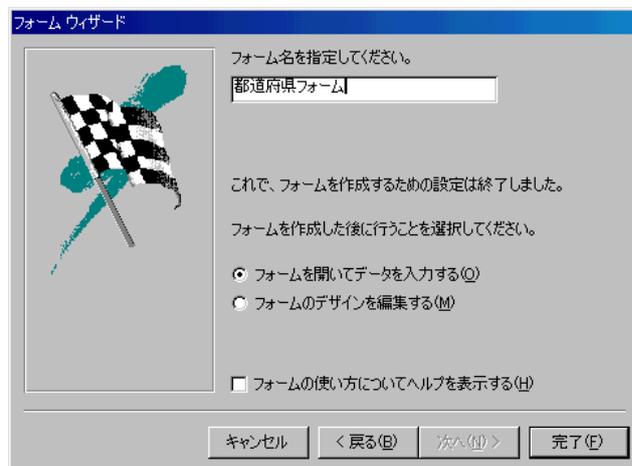
キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

④

フォーム ウィザード

フォーム名を指定してください。

都道府県フォーム



これで、フォームを作成するための設定は終了しました。
 フォームを作成した後に実行することを選択してください。

フォームを開いてデータを入力する(O)
 フォームのデザインを編集する(M)
 フォームの使い方についてヘルプを表示する(H)

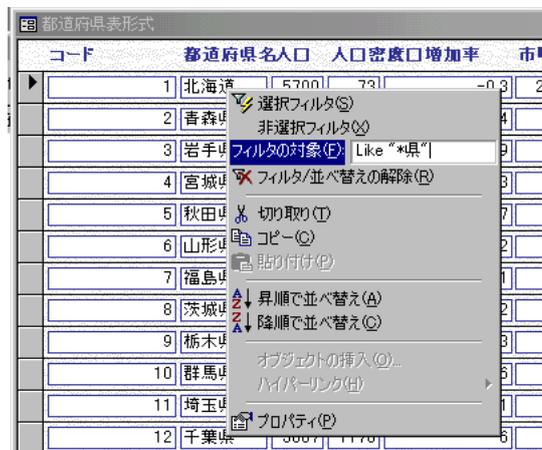
キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

フォームウィザードを使うと、途中で選択した表示フィールドや「スタイル」によっても外観はかなり変わりますが、大きく分けて次のような4種類のフォームを作成することができます。



フォームによるデータ操作

フォームでも、テーブルやクエリーと同様、マウスの右ボタンのクリックによって表示されるショートカットメニューから、各種のデータ操作が行えます。



「フォームフィルタ」を使うと、さらに複雑なレコード抽出操作が行えます。

- ツールバーより[フォーム フィルタ]ボタンをクリックします。



- フォームフィルタ画面が表示されたら、任意の抽出条件を入力します。



- ツールバーより[フィルタの実行]ボタンをクリックします。



- 指定した条件に合うレコードだけが、フォームに表示されます。



コード	都道府県名	人口	人口密度	増加率	市町村数	面積	沼田面積	農野面積
	北海道	5700	73	-0.3	222	83452	727	55972
11	埼玉県	6894	1830	6.1	92	3767		1257
12	千葉県	5887	1178	6	86	4996	14	1692
13	東京都	11830	5628	1.8	64	2102		807
14	神奈川県	8392	3475	8	62	2415	7	972
23	愛知県	6974	1363	6.1	104	5116		2244
27	大阪府	8804	4651	0.3	68	1893		594
28	兵庫県	5461	651	5.1	97	8391		5716
*								

- ツールバーより[フィルタの解除]ボタンをクリックすると、抽出が解除され、すべてのレコードが再表示されます。



フォームのデザイン変更

- データベースウィンドウのフォーム画面で、任意のフォームを選んで、[デザイン]ボタンをクリックすると、フォームのデザイン画面が表示されます。ここで、フォームのデザイン変更を行うことができます。

フォームのデザインウィンドウ

フィールドリスト
データ元となっているテーブルやクエリーのフィールドの一覧です。フォームにドラッグすることによって、フォームに表示、データ入力できるようになります

コントロール
ラベルや、データ入力のためのテキストボックスなどの、フォームを構成する部品です

ツールボックス
フォームにドラッグすることによって、各コントロールをフォームに配置できます

プロパティシート
フォームやコントロールのさまざまな性質を設定します

セクション

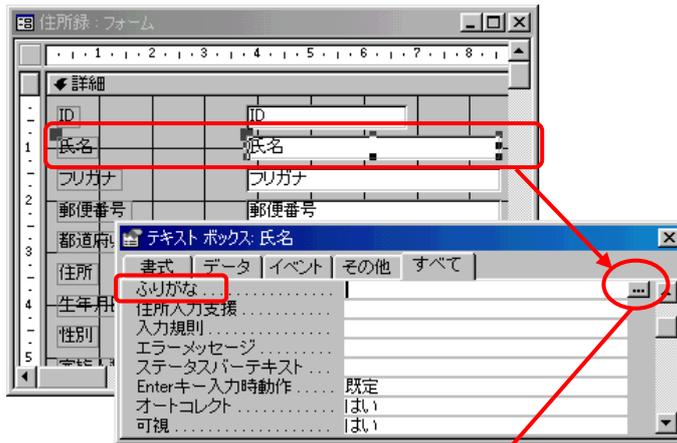
- ・「フォームヘッダー」セクションは、フォームの上部に表示されます
- ・「詳細」セクションは、レコードごとに表示されます

フォームの便利な機能

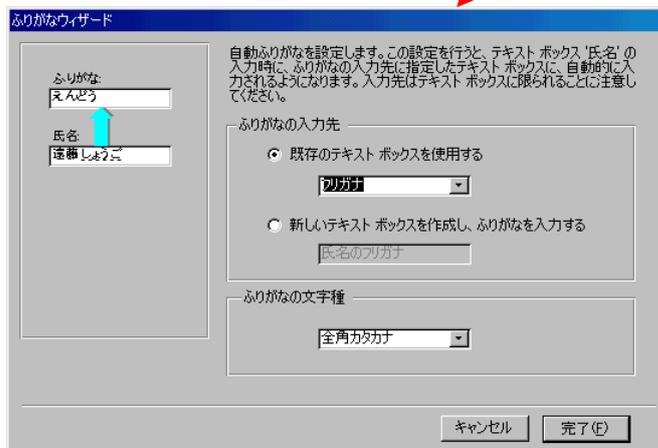
●フリガナ入力

「フリガナ入力」機能を使うと、「氏名」欄などに入力された漢字のフリガナを、指定の欄に自動入力させることができます。

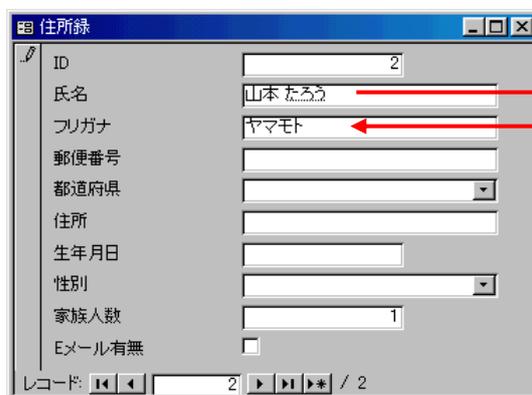
「フリガナ入力」の設定は、次のように行います。



フォーム上の「氏名」欄を選択して、「フリガナ」プロパティ欄の右端にあるボタンをクリックします。



「フリガナウィザード」画面の指示にしたがって、設定を行います。



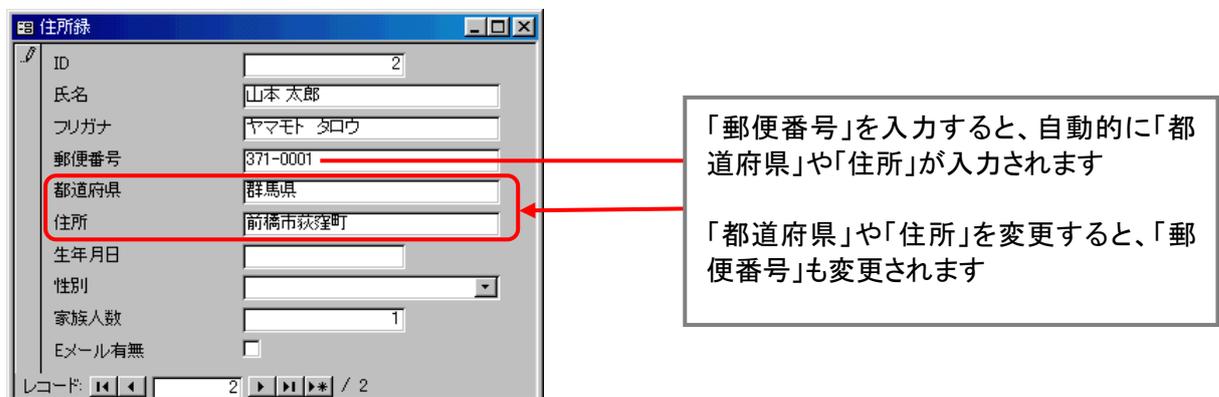
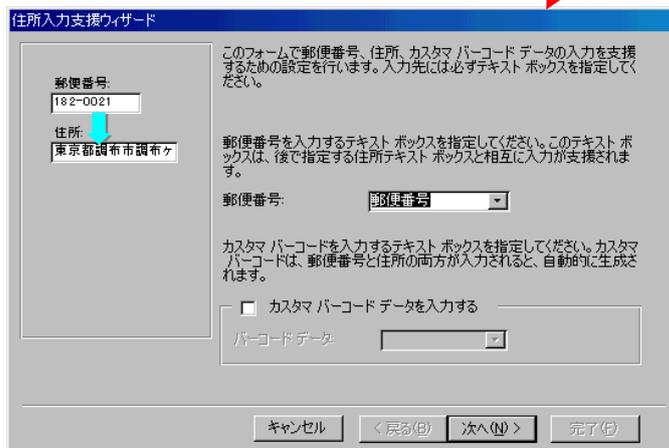
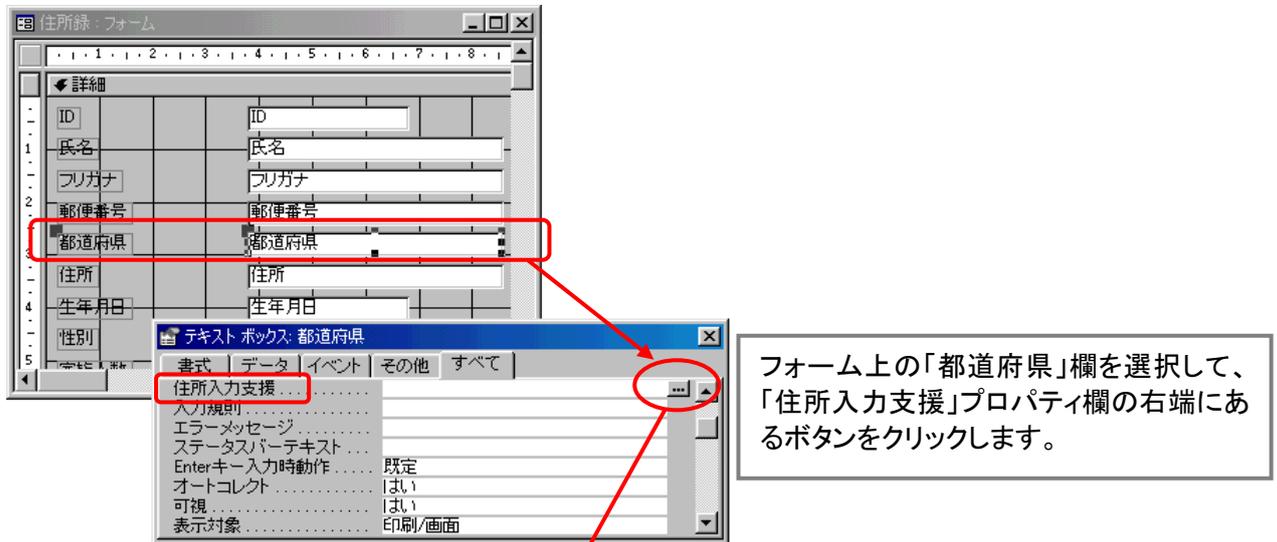
「氏名」を入力すると、自動的に「フリガナ」が入力されます

「氏名」を変更すると、「フリガナ」も変更されます

●住所入力支援

「住所入力支援」機能を使うと、「郵便番号」欄に入力された郵便番号に対応した住所を、指定の欄に自動入力させることができます。設定によって、住所は、1つの欄にまとめて入力させたり、都道府県と住所に分けて入力させたりすることができます。

「住所入力支援」の設定は、次のように行います。

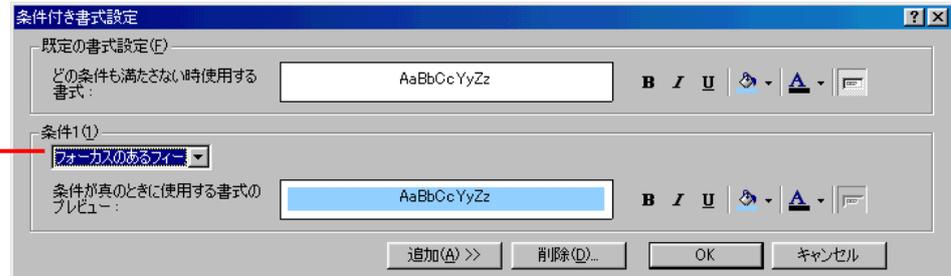


●条件付き書式設定

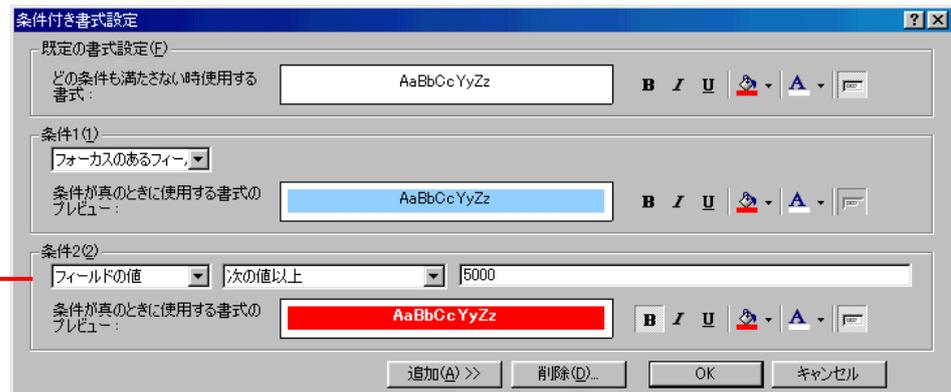
「条件付き書式設定」機能を使うと、レコードの値などに応じて、画面の表示色などをレコード(フィールド)ごとに変えることができます。

☞ 条件付き書式を設定したいテキストボックスを選択して、メニューより[書式]-[条件付き書式]を選択します。

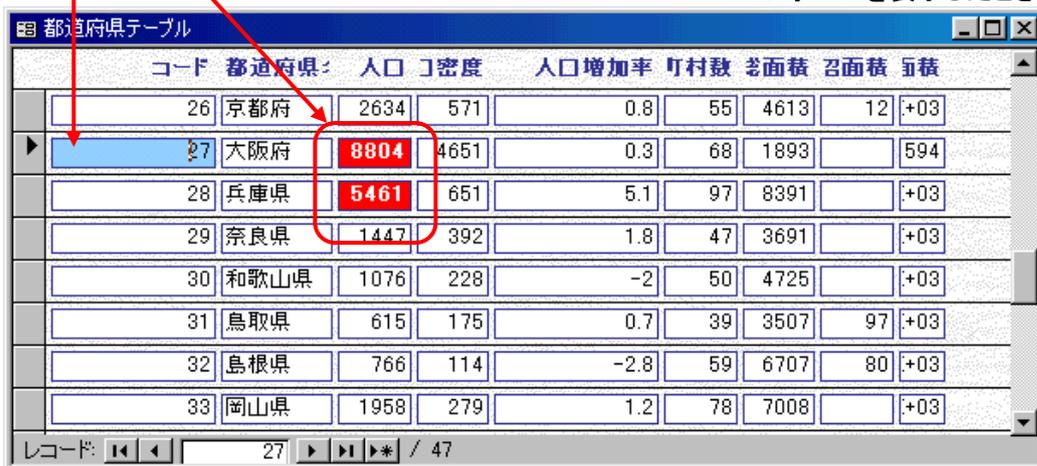
例：フォーカスのあるフィールドの書式を設定



例：フィールドの値が 5000 以上のときの書式を設定



フォームを表示したとき



コード	都道府県	人口	人口密度	人口増加率	町村数	総面積	沼面積	面積
26	京都府	2634	571	0.8	55	4613	12	+03
27	大阪府	8804	4651	0.3	68	1893		594
28	兵庫県	5461	651	5.1	97	8391		+03
29	奈良県	1447	392	1.8	47	3691		+03
30	和歌山県	1076	228	-2	50	4725		+03
31	鳥取県	615	175	0.7	39	3507	97	+03
32	島根県	766	114	-2.8	59	6707	80	+03
33	岡山県	1958	279	1.2	78	7008		+03

※この機能は、Access2000 より追加された機能です。Access97 以前のバージョンでは使えません。

🔑 レポート

レポートとは？

「レポート」とは、いわゆる帳票のことです。プリンタから紙として出力したり、ディスプレイ上でプレビューしたりすることができます。

テーブルやクエリでも、表形式でデータを印刷することができますが、この「レポート」を作成すると、罫線の種類を変えたり、フォントを変えたり、色を付けたり、見出しを付けたりと、帳票の体裁を自由に設計することができます。

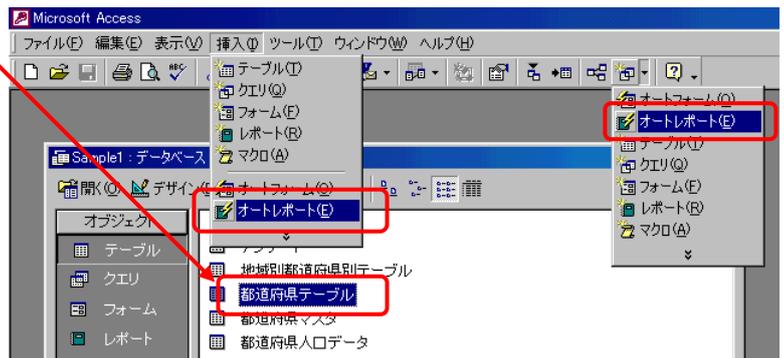
さらに、レポートを使うと、データをそのままの形で出力するだけでなく、より高度な集計を行いながら出力することもできます。

レポートの作り方

●オートレポートを使う

👉 レポートとして印刷するテーブルまたはクエリを、データベースウィンドウで選択します。

👉 メニューの[挿入]-[オートレポート]、またはツールバーより[オートレポート]を選択します。



ただちに、レポートが作成されます。

The screenshot shows the '都道府県テーブル' (Prefecture Table) report. The data is displayed in a table format with columns for 'コード' (Code), '都道府県名' (Prefecture Name), and numerical values.

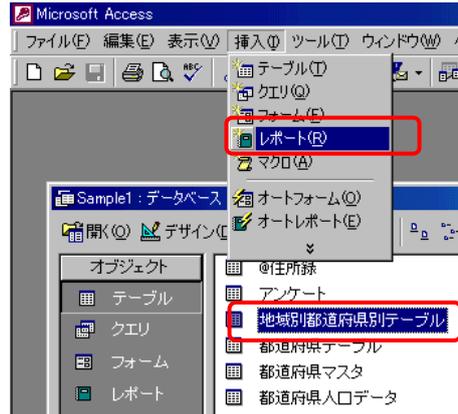
コード	都道府県名	値
1	北海道	5700
	人口密度	73
	人口増加率	-0.3
	市町村数	222
	総面積	83452
	湖沼面積	727
	林野面積	55972
2	青森県	1478
	人口密度	160
	人口増加率	-1.4

●レポートウィザードを使う

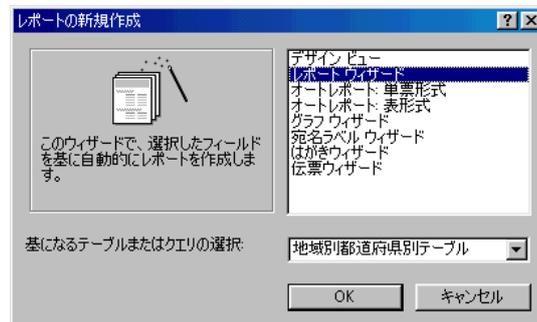
- レポートとして印刷するテーブルまたはクエリを、データベースウィンドウで選択します。

※データベースウィンドウのフォーム画面より[新規作成]を実行してもよい。

- メニューの[挿入]-[レポート]、またはツールバーより[レポート]を選択します。

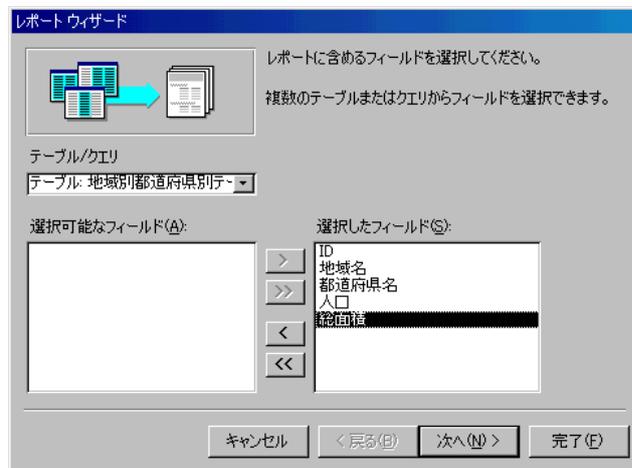


- 続いての画面で、「レポートウィザード」を選択します。



- レポートウィザードの指示に従って、画面の設定を行っていきます。

①



②

レポートウィザード

グループ レベルを指定してください。

ID
人口
総面積

>
<
優先順
↑
↓

地域名
都道府県名
ID, 人口, 総面積

グループ間隔の設定(Q)... キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

③

レポートウィザード

詳細レコードの並び替え順序および集計方法を指定してください。

並び替えを行うフィールドを4つまで選択できます。それぞれのフィールドごとに昇順または降順を指定できます。

1 ID ↓
2 ↓
3 ↓
4 ↓

集計のオプション(Q)...

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

④

この画面は、[集計のオプション]ボタンで表示されます。
[OK]ボタンで③の画面に戻ります。

集計のオプション

フィールドに対して行う演算を選択してください。

フィールド	合計	平均	最小	最大
人口	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総面積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

表示するデータ
 詳細および集計値(D)
 集計値のみ(S)
 パーcentageを計算する(P)

OK
キャンセル

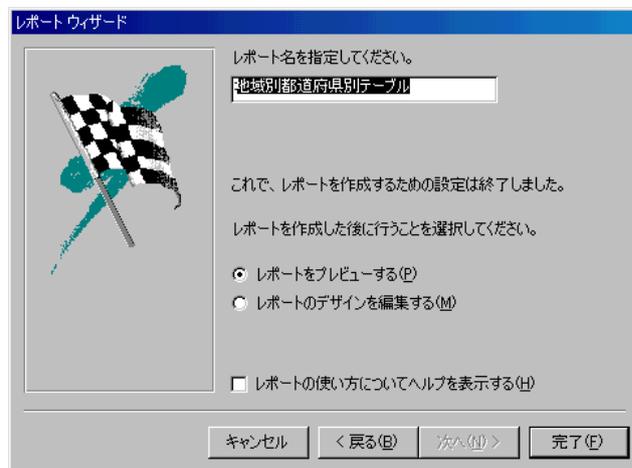
⑤



⑥



⑦



⑧

地域名	都道府県名	ID	人口	総面積
沖縄	沖縄県			
	集計 '都道府県名' = 沖縄 (詳細レコード) 合計		1301	
関東	茨城県			
	集計 '都道府県名' = 茨城県 (詳細レコード) 合計		2996	
	群馬県			
	集計 '都道府県名' = 群馬県 (詳細レコード) 合計		2025	
	埼玉県			
	集計 '都道府県名' = 埼玉県 (詳細レコード) 合計		6894	

※これは、レポートウィザードで作成されるほんの一部のデザイン例です。

レポートのデザイン変更

データベースウィンドウのレポート画面で、任意のレポートを選んで、[デザイン]ボタンをクリックすると、レポートのデザイン画面が表示されます。ここで、レポートのデザイン変更を行うことができます。

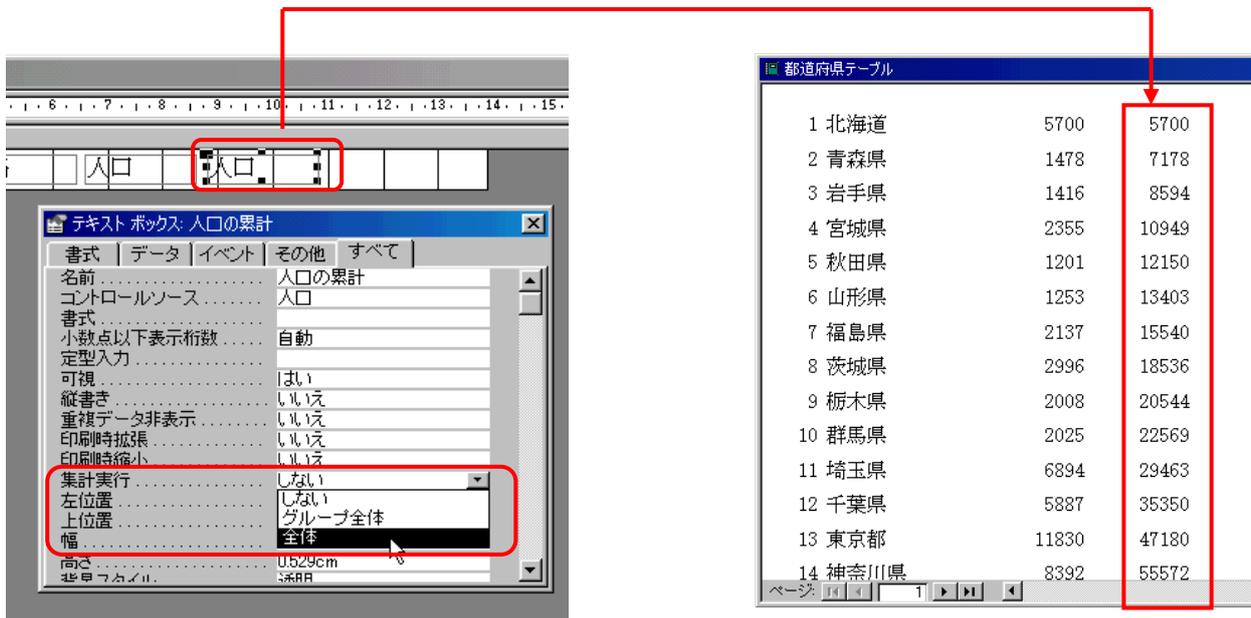
並べ替え/グループ化
印刷時のレコードの並び順や、グループ集計を行うフィールド、グループごとのヘッダ・フッタの有無を設定します。「グループ化」の設定を行うと、グループごとの小計などを出力することができます

グループヘッダー | はい
 グループフッター | はい
 グループごと | 各レ
 グループ間隔 | 1
 同一ページ印刷 | しない

並べ替えまたはグループ化の対象となるフィールドを選択するか、または式を入力してください。

●プロパティの利用例

テキストボックスの「集計実行」プロパティを“しない”以外に設定するだけで、Access にとっては苦手な、累計値の計算も簡単にできてしまいます。



レポートなどで使う関数

関数名	機能
Sum	合計値を求めます ※グループフッターで使うと、そのグループ内の合計が、またレポートフッターで使うと、全レコードの合計が算出されます
Count	レコード数を求めます
Now	現在の「日時」を出力します
Date	現在の「日付」を出力します
Page	現在のページ番号を出力します
Pages	レポートの総ページ数を出力します

※Now 関数などは、レポートに限らず、クエリーの演算フィールドやテーブルの既定値など、多くの場所で使うことができます。

※Excelと同様、Accessには他にもたくさんの関数が用意されています。